

2019 年度 「授業研究会」「SGH 第 5 年次報告会」の御案内 神戸大学附属中等教育学校

向寒の候、皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
 平素は、本校の教育活動の推進に御理解と御協力をいただき、まことにありがとうございます。
 さて、本校の「2019 年度 授業研究会」及び「スーパーグローバルハイスクール (SGH) 第 5 年次報告会」を下記の通り開催いたします。
 本校では「グローバルキャリア人」の育成を教育目標に掲げ、次期学習指導要領の方向性を踏まえた教科教育と汎用的能力論、SGH で取り組む課題研究やグローバル・アクション・プログラム、ユネスコスクールの特色を活かした ESD の実践等、様々な教育実践活動を行っております。
 つきましては多くの皆様に御参会いただき、御指導・御助言を賜りますようよろしくお願いいたします。

2019 年 11 月 吉日

神戸大学附属中等教育学校
校長 藤田 裕嗣

記

- 1 期 日 2020 年 2 月 9 日 (日)
- 2 会 場 神戸大学附属中等教育学校
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 5-11-1
Tel 078-811-0232 Fax 078-851-9354
URL <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top/>
- 3 主 催 神戸大学附属学校部 神戸大学附属中等教育学校
- 4 後 援 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会

5 日 程

	8:30	9:15	9:55	10:05	10:55	11:10	12:00	12:00	13:00	13:00	14:30	14:50	16:30
受 付	全体会①		休憩・移動	公開授業①	休憩・移動	公開授業②	昼休み		研究協議		休憩・移動	全体会② 14:55~16:10 講演	
				SGH分科会			ポスター発表						

6 内 容

(1) 全体会① 9:15~ 9:55 於 第 2 アリーナ (体育館 1 階)

授業研究会 テーマ	「グローバルキャリア人としての資質・能力を育成するカリキュラム開発と評価方法の研究－汎用的能力論と次期学習指導要領の方向性を踏まえて－」
SGH 報告会 テーマ	「地球安全保障への提言を目指す『グローバルキャリア人育成神戸モデル』」

〔基調報告〕 研究部主事・グローバル教育推進室長 指導教諭 岩見理華

〔指導助言〕 神戸大学大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター 教授 石川慎一郎氏

(2) 公開授業①・SGH分科会 10:05~10:55

授業研究会 公開授業

教科	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
数学科	1-2	論証	数学的な根拠による説明の技法を学び、言語活動による思考の深化を目指します。	高木 勝久	選択Ⅴ
保健体育科 【体育分野】	2-1	球技(ネット型)	自己やチームの課題を発見し、解決に向けて考えること及び伝えることについて検討します。	大谷 麻子	体育館 第1アリーナ
技術・家庭科 【家庭分野】	2-2	和食を通して日本の伝統・文化を理解し、その良さを広める	和食の良さについて、小集団で調べ、まとめ、発表し、どのように広めるか検討します。 ※本時は道徳的内容も扱います。	金田 理子	被服室

SGH 分科会①

分科会	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
E S D (社会科公民的分野)	3-4	持続可能な社会とは一より良い社会を目指してー	持続可能な社会とはどのような社会であるかについて、共創型対話を用いて議論する授業を提案します。	森田 育志	6-5
国際理解 (公民科現代社会)	4-3	途上国における教育問題について考える	途上国における教育問題について、それぞれ異なる立場から問題解決を目指した討議を行います。	木下 宏史	6-4
Kobeプロジェクト (総合的な学習の時間)	5年	課題研究	生徒が取り組んでいるSGH課題研究(卒業研究)の中間発表に向けて生徒同士の対話や担当教師の関わり方も含めて紹介します。	米田 貴	選択Ⅰ 教室
実践発表	学年	内容	テーマなど	担当者	教室
グローバル・アクション・プログラム(GAP)	4・5・6年	国内GAPへの参加を通して得た学びについて生徒が発表します。	宮城研修(DR3プロジェクト) 模擬国連、臨海実習	副島 麻衣	6-1
グローバル・アクション・プログラム(GAP)	4・5年	海外GAPへの参加を通して得た学びについて生徒が発表します。	米国アト、ベトナム、台湾高雄、カンボジア	軽尾 弥々	6-2

(3) 公開授業②

11:10~12:00

授業研究会 公開授業

教科等	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
国語科	3-2	古典を現代へつなぐ	和歌を現代の物語として創作することで、思考力・想像力を養う授業を提案します。	立花 佳澄	3-2
社会科	2-3	現代の日本と世界	2年間の歴史分野の学習を踏まえて、「歴史を学ぶ」とはどういうことかについて考えます。	奥村 暁	社会科 教室
数学科 【数学B】	4-2	確率分布と統計的な推測	高校でのPBL(Project Based Learning)型の授業を提案します。データを分析したことから意思決定をすることを目指します。	林 兵馬 中時 貴弘	選択Ⅴ
理科 【化学】	5-3	化学平衡	言語活動を含む、生徒自らが事象を科学的に考察する授業形態を提案します。	安田 和宏	化学 教室
音楽科	1-3	創作活動	イメージと関わらせながら音の繋がり方を理解し、小集団で協力して旋律を創作します。	佐々木 ひかる	音楽室
英語科	実践 報告	SGH英語教育高度化の取組	単元学習を通じた「マイ・イングリッシュ」育成の授業実践と評価について報告します。	英語科 (報告者)	3-3
道徳	3-4	子どもの哲学	「子どもの哲学(p4c)」の手法を用いて、考え、議論する授業を行います。	山本 拓弥 中川 雅道	3-4
Kobeプロジェクト (総合的な学習の時間)	2年	探究入門	探究活動として取り組んだ生徒の調査・発表活動について生徒自身が紹介します。	中田 雅之	選択Ⅲ 教室

※昨年度実施した情報科については次年度から情報科、技術・家庭科【技術分野】の順に実施します。

SGH 分科会②

発表・研究協議	テーマなど	指導助言者	担当者	教室
ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーションの理念に基づく健康教育の実践－養護教諭・栄養教諭・神戸大学との連携研究－	加藤佳子（神戸大学）	藤原真由美 長谷川亜紀 永野 和美	6－3

(4) 昼休み・ポスター発表 12:00～13:00

※ポスター発表（全体会会場（第2アリーナ））

休憩・昼食場所（4-1, 4-2, 4-3, 選択Ⅳ, 3-1, 2-2, 2-3, 1-1, 1-2, 1-3, 選択Ⅱ 各教室）

(5) 研究協議 13:00～14:30

授業研究会 研究協議

教科等	研究テーマ	担当者	指導助言者	教室
国語科	深い学び	川嶋 久予	目黒 強（神戸大学）	3－2
社会科	社会的な見方・考え方を育む授業実践－グローバルな時空間認識の育成を通して－	矢景 裕子	石井 英真（京都大学） 三田 耕一郎（立命館大学）	社会科教室
数学科	数学的活動を通じた「深い学び」を促す授業展開の工夫－評価方法について－	中時 貴弘	岡部 恭幸（神戸大学） 稲葉 太一（神戸大学） 長坂 耕作（神戸大学）	選択Ⅴ
理科	サイエンスリテラシーの育成を目指した中等教育6年間のカリキュラムの構築とその実践	植田 好人 樋口真之輔	伊藤 真之（神戸大学） 佐藤 春実（神戸大学）	集会室
音楽科	豊かな表現力を育む授業実践	佐々木ひかる	森瀬 智子（頌栄短期大学）	音楽室
保健体育科	学び合いを通じた新学力観における思考力・判断力・表現力を深めるカリキュラム開発と評価方法の研究	藤本 佳昭	高田 義弘（神戸大学） 西園 友秀（神戸市教育委員会）	選択Ⅰ教室
技術・家庭科	自国の伝統・文化を大切にする心情を育み、社会の一員としてその良さを広めていこうとするキャリア学習	金田 理子	井上 真理（神戸大学）	被服室
英語科	「マイ・イングリッシュ」の評価をめぐって－資質・能力の3つの柱から－	泉 美穂	中井 弘一（京都橘大学）	3－3
道徳	考え、議論する道徳教育	上村 幸 中川 雅道	稲原 美苗（神戸大学）	3－4
Kobeプロジェクト（総合的な学習の時間）	6年一貫Kobeプロジェクトの実践－汎用的能力育成の要として－	岩見 理華	林 創（神戸大学）	選択Ⅲ教室

SGH 研究協議

分科会	研究テーマ	担当者	指導助言者	教室
ESD（社会科公民的分野）	SDGs 達成に貢献する生徒を育む ESD の授業実践と評価	森田 育志	多田 孝志（金沢学院大学）	6－5
国際理解（公民科現代社会）	持続可能な社会に貢献する生徒を育む国際理解の授業実践	木下 宏史	山西 優二（早稲田大学）	

(6) 全体会② 14:50～16:30 於 第2アリーナ（体育館1階）

講演 14:55～16:10	資質・能力育成を目指したカリキュラム設計と授業実践－パフォーマンス課題を評価にどのように活かすか－ 西岡 加名恵氏（京都大学大学院教育学研究科教授）
-------------------	---

<講師略歴>

広島県出身。1995年京都大学大学院教育学研究科修士課程修了。1998年英国バーミンガム大学教育学研究科 Ph.D. (Ed.) 取得。1999年鳴門教育大学講師，2004年京都大学大学院教育学研究科助教授，2007年同准教授（職名変更），2017年より現職。専門は教育方法学（カリキュラム論，教育評価論）。日本教育方法学会常任理事，日本カリキュラム学会常任理事，文部科学省「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」委員などを歴任。主な著書に、『教科と総合学習のカリキュラム設計：パフォーマンス評価をどう活かすか』（単著，図書文化，2016年），『Q&A でよくわかる！見方・考え方を育てるパフォーマンス評価』（分担執筆，明治図書，2018年），『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価：「見方・考え方」をどう育てるか』（編著，日本標準，2019年）などがある。

【受付（参加申込）について】

- ・事前の参加申し込みを行っております。本校ホームページより申込手続きをお願いいたします。
(当日申込みも可能ですが、できる限り事前申込をお願いいたします。)
(本校ホームページ <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top/> より
申込フォーム(12月上旬までに掲載予定)をダウンロードし、メールにてお申し込みください。)
- ・弁当(お茶付き)の事前予約による販売(1,000円,当日の支払い)を行っております。
御希望の場合は、ホームページの予約フォームでお申し込みください。
- ・学内は下足のまま移動できます。上靴の御準備は必要ありません。
- ・お車での来校は御遠慮ください。
- ・荒天時・学級閉鎖時などの対応についてはホームページにて御確認ください。
- ・御不明な点がありましたら、本校研究部までお問い合わせください。

[問合せ先] Tel ダイヤルイン 078-811-0237(内線 65) 研究部・グローバル教育推進室 岩見

■交通のご案内

駅からのアクセス

阪急御影駅から徒歩約 20 分

阪急御影駅から神戸市バス 19 系統・39 系統で約 15 分

J R 住吉駅から神戸市バス 39 系統で約 20 分

阪神御影駅から神戸市バス 19 系統で約 20 分, 39 系統で約 30 分

※当日は日曜日のため阪急御影駅からが便利です。

在来線

<大阪方面からお越しの場合>

阪急梅田駅→(特急約 12 分)→西宮北口駅→(普通約 10 分)→阪急御影駅

J R 大阪駅→(快速約 20 分)→J R 住吉駅

<三宮方面からお越しの場合>

阪急神戸三宮駅→(普通約 10 分)→阪急御影駅

J R 三ノ宮駅 →(快速約 8 分)→J R 住吉駅

新幹線

新神戸駅→(神戸市営地下鉄)→神戸三宮駅→(阪急線)→阪急御影

飛行機

神戸空港 →(ポートライナー)→神戸三宮駅→(阪急線)→阪急御影駅

大阪伊丹空港→(大阪モノレール)→阪急蛍池駅→(阪急線・十三経由)→阪急御影駅